

1510 | イメージ編集Ⅰ

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

白尾隆太郎教授、石垣貴子講師、深澤涼子講師、山口弘毅講師

授業の概要と目標

「イメージ編集Ⅰ」では、編集を多義的に捉え、さまざまなメディアでの表現が、人間の共通感覚に根ざしたイメージの編集によって成り立っていることを理解する。

ここでは、自らの視点から捉えたテーマを、日常の身体を通した、視る・聴く・味わう・触れるなどの体験に基づいて記録する。取材や情報の収集を含め、編集し、表現することのプロセス全体を実践することで、コミュニケーションとしての適切な方法を考える。

課題の概要

○通信授業課題

個人の明確な情報の発信を他者に行うコミュニケーションの手段として、「私の博物誌」「私の食文化誌」を A to Z という形式で考え、紙によるメディアを制作する。

A1 サイズ 1 枚分の紙を、折る・切る・束ねる・連ねる、その他自由な形態を考え、自らの視点で編集し、テーマを受け手にわかりやすく伝え、面白いコミュニケーションツールを考える。

○面接授業課題

通信課題で得られた理解を応用した編集デザインの実習及び広告デザインの実習。

*課題については、学習指導書『イメージ編集Ⅰ・Ⅱ 平成 30 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

日常の中にある物事を改めて自らの視点で眺め、問題や関心を深めていくことから、体験的に集められてくる情報や物事の成り立ちのプロセスを探っていくことでさまざまな発見をする。それらを独自の方法で編集することで、より良好なコミュニケーションの手段を考える。編集デザインの計画をなるべく 9 月上旬までに送り、チェックを受けた後、本制作をする。

[面接授業]

編集デザインを中心とした授業（3 日間）+ 広告デザインを主とした授業（3 日間）。

成績評価の方法

[通信授業] 提出作品、制作プロセスの総合評価とする。

[面接授業] 制作プロセス、全体講評と作品の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3 年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得していること（コミュニケーションデザインコース 3 年次編入学生を除く）。

[備 考] デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース 3 年次必修科目。

コミュニケーションデザインコース 3 年次編入学生は「グラフィックデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得しているか、同時に履修することが望ましい。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：若林直樹・白尾隆太郎編『イメージ編集』（武蔵野美術大学出版局 2003 年）

学習指導書：『イメージ編集Ⅰ・Ⅱ 平成 30 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年）

その他

参考文献：石毛直道監修、熊倉功夫編『講座 食の文化 2 日本の食事文化』（味の素食の文化センター 1999 年）

芳賀登・石川寛子監修『全集 日本の食文化 第 12 巻 郷土と行事の食』（雄山閣出版 1999 年）

石川英輔『大江戸えねるぎー事情』（講談社 1993 年）

工藤強勝監修 日経デザイン編『編集デザインの教科書』（日経 BP 社 1999 年）

1520

| イメージ編集 II

| 3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

白尾隆太郎教授、上原幸子教授、小川明日香講師、山崎連基講師

授業の概要と目標

「イメージ編集 II」は、編集を多義的に捉え、さまざまなメディアでの表現が人間の共通感覚に根ざしたイメージの編集によって成り立っていることを理解する。教科書『イメージ編集』にあげた「比較」「反復」「反転」「転置」「拡大縮小」「演出」「省略と純化」「変換」の8つのテーマは、それらを分類することによって、背景にある作家の動機や思想を浮き彫りにしようとするものである。その思想に触れることにより、どのようにして表現されたものが成立してきたかを理解し、自らがコミュニケーションの担い手として、自らがイメージの世界を追求する。

課題の概要

○通信授業課題

教科書『イメージ編集』にある「比較」「反復」「反転」「転置」「拡大縮小」「演出」「省略と純化」「変換」の8つのテーマから、3つを選んで、あなた自身がそれぞれの作例に相応しいと思われる作品を、デザイン・美術作品・写真・建築・コミックス・音楽などから選択し、図版と解説を指定されたデザインフォーマットにまとめる。また、8つのうちから1つのテーマを選び、作品をつくる。

○面接授業課題

ビデオによる表現の実習。

*課題については、学習指導書『イメージ編集 I・II 平成 30 年度』を必ず参照すること。

授業計画

教科書『イメージ編集』と学習指導書『イメージ編集 I・II 平成 30 年度』による。

成績評価の方法

面接授業の評点と、通信授業のレポート評価の評点による総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] コミュニケーションデザインコース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（『学生ハンドブック』p.051 の特例を除く）。

[備 考] デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース4年次必修科目。

教材等

教科書：若林直樹・白尾隆太郎編『イメージ編集』（武蔵野美術大学出版局 2003 年）

学習指導書：『イメージ編集 I・II 平成 30 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年）

その他

面接授業について：グループワークを行う。

1530 | コミュニケーション研究Ⅰ

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

上原幸子教授、朝比奈ゆり講師

授業の概要と目標

「コミュニケーション研究Ⅰ」では、私たちが普段何気なく行っているコミュニケーションについて考察し、人と意識共有していくためのワークショップとメディア制作を体験する。自分の足元を見つめ直すことで独自の視点を掘り起こし、身近な人に伝え、その経験をもとに共同作業を試みる。イメージやストーリーを媒介にして、コミュニケーションを深めていくことを学習する。

この授業では、メディアをコミュニケーションの道具として捉え、自己から他者へ、そして社会へと情報発信していくための課題が、段階的に設定されている。メディア制作そのものに軸があるのではなく、誰に対してどんな意図をもった発信なのか、対象と目的に対して適切な表現を目指すことが重要となる。

課題の概要

○通信授業課題1

身近な対象を素材に、自分を紹介する紙芝居を制作する。

○面接授業課題

まちづくり活動の現場をグループで訪問し、体験したことをもとにテーマを決め、ワークショップ・企画・取材・編集・デザイン・プレゼンテーションなど、人にはたらきかけていくメディアについて実践的に学ぶ。

○通信授業課題2

身近な仲間の魅力あるプランをはたらきかけ、その記録をデザインする。

*課題については学習指導書『コミュニケーション研究Ⅰ・Ⅱ 平成30年度』を必ず参照すること。

授業計画



[通信授業] ※通信課題1を面接授業の初日に持参すること。

自己紹介の紙芝居

[面接授業]

ワークショップ・取材・プレゼンテーション

[通信授業]

日常生活活性プロジェクト

成績評価の方法

通信授業と面接授業の評点による総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得していること（コミュニケーションデザインコース3年次編入学生を除く）。

[備 考] デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース3年次必修科目。

教材等

教科書：上原幸子編『デザインとコミュニティ』（武蔵野美術大学出版局 2018年）

学習指導書：『コミュニケーション研究Ⅰ・Ⅱ 平成30年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018年）

その他

参考文献：高橋陽一監修、杉山貴洋編『ワークショップ実践研究』（武蔵野美術大学出版局 2002年）
 浅海義治ほか企画、編集『参加のデザイン道具箱 PART1～4』（世田谷まちづくりセンター）
 原研哉／阿部雅世『なぜデザインなのか。』（平凡社）
 山崎亮著『コミュニティデザイン—人がつながるしくみをつくる—』（学芸出版社）
 加藤哲夫著『市民の日本語—NPOの可能性とコミュニケーション—』（ひつじ書房）
 西村佳哲『かかわり方のまなび方』（筑摩書房）

面接授業について：学外での見学と取材、およびグループワークを行う。

1540

コミュニケーション研究II

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

上原幸子教授、朝比奈ゆり講師

授業の概要と目標

「コミュニケーション研究I」での学習を踏まえ、個人と社会のかかわりをテーマにさらに発展的に学習する。制作のプロセスにおいて、人との協議や意識共有、リサーチを重視し、その成果物をコミュニケーションツールとして活用した実践活動を行う。その体験を通して、人と人・人と社会など、さまざまな場面でのインタラクティブなコミュニケーションデザインの可能性を探る。そして、誰にでもわかりやすい見せ方、企画やテーマが最も生かされる表現手法など、メディアリテラシーの獲得を目指す。

課題の概要

○通信授業課題1

身の回りにある地域の活動を調べ、その経過をファイルにまとめる。また、面接授業で予定されている発表にむけて、その活動を紹介する展示パネルを制作する。

○面接授業課題

通信授業で取り上げた活動の展示パネルをもとに、「コミュニケーションデザイン展」を計画し実施する。

○通信授業課題2

面接授業で得られた情報を、訪問先に報告するためのレポートを作成する。

*課題については学習指導書『コミュニケーション研究I・II 平成30年度』を必ず参照すること。

授業計画

通信授業1



面接授業



通信授業2

[通信授業] ※面接授業の初日に持参する。

取材のファイリング 展示パネルなどメディアの制作

[面接授業]

展覧会イベントの企画と開催

[通信授業]

展覧会イベントの報告書の作成

成績評価の方法

通信授業と面接授業の評点による総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] コミュニケーションデザインコース3年次必修科目の単位をすべて修得していること(『学生ハンドブック』p.051の特例を除く)。

[備 考] デザイン情報学科コミュニケーションデザインコース4年次必修科目。
展示会場の都合により、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：上原幸子編『デザインとコミュニティ』（武蔵野美術大学出版局 2018年）

学習指導書：『コミュニケーション研究I・II 平成30年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018年）

その他

参考文献：高橋陽一監修、杉山貴洋編『ワークショップ実践研究』（武蔵野美術大学出版局 2002年）
浅海義治ほか企画、編集『参加のデザイン道具箱 PART1～4』（世田谷まちづくりセンター）
原研哉／阿部雅世『なぜデザインなのか。』（平凡社）
山崎亮著『コミュニティデザイン—人がつながるしくみをつくる—』（学芸出版社）
加藤哲夫著『市民の日本語—NPOの可能性とコミュニケーション—』（ひつじ書房）
西村佳哲『かかわり方のまなび方』（筑摩書房）

通信授業について：学外での取材を行う。

面接授業について：グループワークと展示を行う。

2220 | グラフィックデザイン I

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

白尾隆太郎教授、石塚英樹准教授

授業の概要と目標

「グラフィックデザイン基礎 I・II」（造形総合科目コミュニケーションデザインコース指定科目）では色、文字、写真、形の認識、コンピュータの基礎的な課題を通じて、形や色が意味をなし、その意図が他者に伝わったかを検証した。「グラフィックデザイン I」（専門選択科目）では、それらを前提として学生が独自の視点や方法を発見し、事象の原初的な形を追求する。

課題の概要

○通信授業課題「ONE DAY」

一日という時間の単位をどのような現象に着目し、写真として記録するかを考え、24 枚の写真集にまとめる。

○面接授業課題「データグラフィックス」

時間・場の変容や様相に注目し、現象を自ら計り採り、ビジュアル表現を考え、制作する。

授業計画

[通信授業] (1) 一日という時間単位をどのような写真の変容で表すかを考える。

(2) 撮影計画を立て記録をしながら撮影する。

(3) 24 点の写真を選択し、28 ページの蛇腹形式の写真集を制作する。

[面接授業] 日常の行為や身の回りの現象に注目し、時間や場の様相や変化を表示する要素を探る。それらをどのように計り採り定着させるかを研究し、作品として完成させる。

成績評価の方法

通信課題では、提出された作品の総合評価とする。

面接課題では、発想・制作のプロセス・作品などの総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3～4 年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎 I・II」の単位を修得していること（コミュニケーションデザインコース 3 年次編入学生を除く）。

[備 考] 選択科目ではあるが、コミュニケーションデザインコースの専門科目として、同コースの学生は履修することが望ましい。造形文化科目「カメラリテラシー」を受講していることが望ましい。コミュニケーションデザインコース 3 年次編入学生は「グラフィックデザイン基礎 I・II」の単位を修得しているか、同時に履修することが望ましい。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：新島実監修『新版 graphic design 視覚伝達デザイン基礎』（武蔵野美術大学出版局 2004 年）

学習指導書：『グラフィックデザイン I・II 平成 30 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年）

2230 | グラフィックデザイン II

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

白尾隆太郎教授、氏家真清講師、石垣貴子講師

授業の概要と目標

グラフィックデザインの集大成として、「グラフィックデザイン II（専門選択科目）」ではより高度なデザインを実現する課題として、二つのテーマを取り上げる。

通信授業課題はブランディングというテーマである。デザイン、とりわけ商品や広告に関わる分野では、メッセージの対象となる人々の特徴や特質を理解し、的確なデザインを実現するためにリサーチが重要になる。それらを理解し、対象者をイメージしながら具体的なデザインを実現する方法を学ぶ。

面接授業課題はエディトリアルデザインである。書籍は、人類の長い文化の歴史を紙と文字によって積み重ね、蓄積して来た。近年ではコンピュータの発達によって、デザイナー自身が文章や組版、写真まで関与することができるようになり、そのためさまざまな技量と知識が必要になった。編集とデザインが融合しながら課題を進め、文字や写真や図版を総合できる力を学ぶ。

課題の概要

○通信授業課題「ビジュアル・アイデンティティ」

年齢層別に商品やブランドをリサーチし、ビジュアル・アイデンティティの傾向を分析・考察する。その後リサーチした考察を元に作品を制作する。それらがイメージにどのように作用しているのかを言語化することによって、表象としてのデザインの役割を学習する。

○面接授業課題「エディトリアルデザイン」

「○○を記述する」ということだけが与えられたテーマである。○○にあたる部分を自分で考え、取材し、書籍という形式にまとめる。

授業計画

[通信授業] (1) 年齢層別に開発された商品を構成する要素をリサーチし、その特徴について考察しレポートする。資料と文章をわかりやすくデザインして提出する。

(2) ある年齢層に向けたカルタを制作する。

[面接授業] 書籍（紙面）を制作するにあたり、テーマ、編集方針と計画、デザイン方針と計画、デザインフォーマットなど編集デザインの基本を十分に理解した上で、独自の視点で編集・デザインする。

成績評価の方法

通信課題では、提出された作品の総合評価とする。

面接課題では、発想、制作のプロセス、作品などの総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3～4年次

[履修条件] 「グラフィックデザイン基礎 I・II」の単位を修得していること（コミュニケーションデザインコース 3 年次編入学生を除く）。

[備 考] 選択科目ではあるが、コミュニケーションデザインコースの専門科目として、同コースの学生は履修することが望ましい。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：新島実監修『新版 graphic design 視覚伝達デザイン基礎』（武蔵野美術大学出版局 2004 年）

学習指導書：『グラフィックデザイン I・II 平成 30 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2018 年）